

2025年度事業計画書

I 概況

1. 入館者数 110,000人

2024年度もプロ野球界、アマチュア野球界ともに盛り上がったシーズンでした。当館も内外問わず多くのお客様で賑わいました。

さて、昨年度の当館の活動ですが、プロ野球90周年や甲子園球場開場100周年を記念した展示を始め、NPBとのコラボレーション企画「野球の学校2024」ではNPB野球規則委員の友寄正人さん、元プロ野球審判員の井野修さんらのトークイベント、小学生向けの「野球で自由研究！」でのイベントなどを開催し、野球の普及・振興に努めました。

また、当館の開館65周年を記念したオリジナル水筒を作製し、開館記念日である6月12日に来館されたお客様へプレゼントを行い、日頃の感謝を伝えました。

2024年度の入館者数はこのような活動が好評だったこともあり、予算を大幅に上回る13万人以上を見込んでいます。

2025年度は、イチロー氏の野球殿堂入りで認知度が高まった野球殿堂に関する展示、大谷選手を始めメジャーリーグで活躍した日本人選手に関する展示、東京六大学野球100周年の記念展示など野球振興に寄与するような展示やイベントを開催するとともに、夏休みの「野球で自由研究！」を含む「野球の学校2025」をさらに発展させる活動などを行います。

目標入館者数は、入館料値上げの影響を勘案し11万人としますが、この数字を上回るよう職員一同努力いたします。

2. 野球殿堂

2025年の野球殿堂入りが決定した岩瀬仁紀氏、掛布雅之氏、富澤宏哉氏の表彰式は、7月23日（水）京セラドーム大阪で開催されるプロ野球オールスターゲームの試合開始前に行う予定です。なお、イチロー氏については、現在調整中です。

また、恒例の顕彰者ゆかりの品々を展示する「野球殿堂入り特別展」は、表彰式終了後に野球殿堂ホールにて開催する予定です。

3. その他

新年度を迎えるにあたり、3月より10年ぶりに入館料を値上げいたします。同時にキャッシュレス対応としてクレジットカード決済を導入いたします。

加えて、同じく3月よりお客様サービス向上施策として、映像シアターのリニューアル、外国人のお客様のための館内案内サインの多言語化、図書室の本や雑誌を気軽に楽しめるコーナーの新設、カーペットの張替えなどを行います。

また、「プロ野球TODAY」エリアの照明LED化を含むリニューアル、当館をさらに周知するための紹介映像の制作、キャッシュレス決済対応の追加などを行う予定です。

Ⅱ 館内活動

【図書室】

<重点目標>

- ・資料の図書管理システムへの登録を推進し、利用者の利便性向上を図る。

<ベースボール・インフォメーション・センター化に向けて>

[収集]

下記の資料を中心に積極的に収集し、当室ならではのコレクションを構築する。

- (1) プロや高校、大学、社会人、軟式、女子野球等の資料
- (2) 外国語の資料
- (3) 野球文化に関する資料

[組織化]

資料状況を確認しながら以下のことを中心に行う。

- (1) 図書管理システムへの資料登録を計画的に行う。
- (2) 過去に寄贈された資料の整理。
- (3) デジタル化資料の閲覧システムなどの検討・構築。
- (4) 財産目録上にある資料の処遇について検討。

[保存]

資料を長期にわたり活用できる形にする。

- (1) 資料のデジタル化を継続。
- (2) 資料の製本。

[利用者サービスの向上]

- (1) OPACの充実。
- (2) データベース導入の検討。
- (3) レファレンス対応。
- (4) 利用者調査（アンケート実施など）。
- (5) 利用者環境の改善（備品新調など）。
- (6) デジタル化資料の閲覧（図書室内のみ）。

[調査研究]

- (1) 野球文化に関する資料の調査研究。
- (2) 野球殿堂に関わる資料調査及び資料作成。
- (3) 明治、大正、昭和期の野球に関する資料の調査研究。
- (4) 資料のデジタル化についての先行研究の調査。
- (5) オーラルヒストリーの収録、公開。

[情報発信]

- (1) 日本野球学会への参加、発表。
- (2) 図書館総合展への参加。
- (3) SNS の活用 (X、Instagram など)。
- (4) 所蔵資料紹介を Web で行う。
- (5) 博物館や図書室の歴史紹介を Web で行う。

<教育普及活動>

- (1) 野球で自由研究！お悩み相談コーナーの設置。
- (2) 「野球で自由研究！」関連資料の販売。
- (3) 「第10回 野球で自由研究！コンテスト」の開催。

<他機関との連携>

- (1) 日本図書館協会や日本体育図書館協議会、専門図書館協議会などの大会や総会、研究会への参加(情報交換)。
- (2) 秩父宮記念スポーツ図書館をはじめとするスポーツ系図書館との連携強化。

【学芸員室】

<重点目標>

- (1) コレクションの整理、収蔵環境の向上の継続的な実施。
- (2) 今シーズンの日本野球における様々なトピックに加え、イチロー氏の殿堂入りや、2026 ワールド・ベースボール・クラシック、大谷翔平選手をはじめ大リーグで活躍する日本人選手へのファンの期待などを展示に反映させ、タイムリーで魅力的な資料を展示することで、リピーターを獲得し、継続的な動員につなげる。

<収集>

- (1) 資料収集方針に沿って資料を収集し、コレクションの充実を図る。

<整理・保管・保存>

- (1) コレクションの登録作業を進める。
- (2) 収蔵庫の分類別収蔵を徹底し、収蔵環境向上に努める。
- (3) 将来的な資料管理システム導入に向け、引き続き収蔵資料の確認、付け合わせを実施する。
- (4) 外部収蔵庫、クラウドサービスを活用し、業務環境改善につなげる。
- (5) 鈴木惣太郎コレクションなどから、戦前の写真のデジタル化を進め、並行して公開方法の検討を進める。

<展示・イベント>

[企画展・特別展]

- (1) 野球殿堂 1959～2025 3月1日～7月
- (2) 野球報道写真展 ベストショットで振り返る 2015～2024 7月～8月
- (3) 「野球で自由研究！」7月～8月
- (4) 東京六大学野球 100周年記念展 9月～11月
- (5) 企画展「野球報道写真展 2025」12月～2026年2月
- (6) ワールド・ベースボール・クラシック企画展 2026年3月～

[常設展・特集展示]

- (1) 大リーグの名選手と日本人選手特集 3月1日～6月末 ※イベントホール
- (2) 全日本大学野球選手権大会 6月予定 ※アマチュア野球コーナー
- (3) 高校野球特集展示 選抜3～5月、選手権8月予定 ※アマチュア野球コーナー
- (4) 都市対抗野球 7月予定 ※アマチュア野球コーナー
- (5) 引退選手特集 12月～2026年2月予定
- (6) 野球で自由研究！コンテスト作品展 2025 2026年春予定

[「野球の学校」イベント]

- (1) 野球殿堂入りの方々によるトークイベント
- (2) 野球で自由研究！関係イベント
審判員、記録員イベント、バット製作実演、グラブ製作教室等

<調査・研究>

- (1) 企画展・特別展開催に際し、それぞれのテーマについて情報を収集する。
- (2) 19世紀の日本野球の調査研究を続ける。

(3) 野球関係の学会に参加し、展示の充実につなげる。

< 広報活動 >

- (1) 企画展やイベント情報を、積極的にテレビ、ラジオ、新聞、情報誌等にリリースし、マスコミへの広報に努める。また、チラシやポスターを作成し、東京ドーム構内や首都圏の本拠地球場、近隣施設等で配布、掲示し、周知に努める。
- (2) ホームページやSNS、P R T I M E S で企画展やイベント情報を紹介する。
- (3) 当館を紹介する記事、番組の取材や撮影に積極的に協力してP R に努める。
- (4) N P B、アマチュア野球関係団体に働き掛け、当館を利用したイベント、記者会見等を積極的に誘致し、館内の有効利用に努める。

< 学校教育との連携 >

- (1) 学校教育向け体験学習プログラムの対応を行う。2025年度受入れは原則として平日の火、木の13:30~14:30の1日1組とし、①「野球の歴史について」、②「野球殿堂博物館について」、③「野球にまつわる仕事について」の3種のテーマを選択していただき、担当者からプレゼンテーションを行う予定。
- (2) 学芸員課程の履修学生を実習生として受入れる。

< 館内設備更新 >

- (1) プロ野球 Today コーナー改装

【建物設備の維持管理】

- (1) 館内ショーケース内LED照明の更新工事を行う。
- (2) 空冷チラーの老朽化している冷水ポンプの更新工事を行う。
- (3) 空調設備の室外機、室内機の保守点検を、年4回専門業者に委託して、維持管理に努める。
- (4) 消防設備の保守点検を年2回専門業者に委託して行う。
- (5) 自動扉の点検を、年3回専門業者に委託して行う。
- (6) エレベーターの保守点検を、年4回専門業者に委託して行う。
- (7) 受付ボスレジシステムの点検を、年2回専門業者に委託して行う。
- (8) 感染症拡大防止のため、日常の清掃、衛生対策を強化する。また、お客様の手に触れやすい箇所に関しては、営業中定期的に消毒し、除菌作業を強化する。

【収益事業】

- (1) 新商品の開発及び商品アイテムの拡充に努める。また、オンラインショップにおいてキャンペーンを実施し、収入増につなげる。
- (2) 2025年野球殿堂入りのイチロー氏、岩瀬仁紀氏、掛布雅之氏のメモラビリアをNPBオンラインショップで販売する。

Ⅲ 館外活動

- (1) 館外貸出
野球界関連の団体、公共団体、類縁機関等の展覧会やイベントに際し、資料貸出だけではなく、企画内容に関する相談にも対応するなど積極的に協力し、野球の底辺拡大に努めるとともに、野球殿堂博物館の認知度を高める。
- (2) 船橋市との相互協力協定（2017年4月～）
- (3) 全国博物館大会への参加

Ⅳ 野球殿堂関連の事業

- (1) 2025年に野球殿堂入りしたイチロー氏、岩瀬仁紀氏、掛布雅之氏、富澤宏哉氏のレリーフ制作を彫刻家松田光司氏に依頼する。
- (2) 野球殿堂入り特別展を、7月～9月にかけて殿堂ホールで開催する。
- (3) 2026年野球殿堂入りの有資格者の調査を行う。競技者表彰委員会幹事による東日本幹事会を東京、西日本幹事会は大阪で開催し、候補者を決定し発表する。
- (4) 競技者表彰委員会委員の異動調査を、各社の代表を通じて行う。その後、各社の代表経由で、委員に投票用紙を配布、記名投票にて、投票用紙の回収を行う。その後、競技者表彰委員会東日本幹事会の幹事により開票作業を行う。
- (5) 特別表彰の候補として推薦された方の調査を行い、資料を作成する。特別表彰委員会候補者選考委員会を開催し、候補者を決定し発表する。その後、委員に対し投票用資料を郵送し、特別表彰委員会を開催する。
- (6) 競技者・特別両委員会で選出された方への2026年野球殿堂入り通知式を、野球殿堂ホールにて行う。
- (7) 野球殿堂関係資料の整理を行う。
- (8) 顕彰者のご家族の近況を確認するため、アンケートを実施する。